
「当院における卵巣境界悪性・悪性腫瘍合併妊娠の後方視的検討」に

に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1．研究の対象となる方

2011年1月1日から2023年11月30日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、卵巣腫瘍合併妊娠と診断され、手術を実施した患者さんを対象としております。

2．研究の目的

卵巣腫瘍合併妊娠に対し手術を実施した患者さんのうち、卵巣境界悪性腫瘍・悪性腫瘍と診断された方の特徴を分析し、妊娠中の卵巣腫瘍が良性か悪性かの判断を手術前に診断可能かどうか検討します。

3．研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4．利用または提供の開始予定日

2024年2月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1．試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である宮下 真奈美が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2．試料・情報の取得方法

卵巣腫瘍合併妊娠と診断された患者さんの手術を実施した際に行った検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科

研究責任者：総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 助教 医師 宮下真奈美

研究責任者：産婦人科 助教 医師 重松幸佑

研究実施者：産婦人科 助教 医師 魚谷隆弘

研究実施者：産婦人科 教授 医師 長井智則

研究実施者：産婦人科 教授 医師 高井泰

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 助教 宮下 真奈美

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3681（直通）（平日 9 時～17 時）

○研究課題名：当院における卵巣境界悪性・悪性腫瘍合併妊娠の後方視的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター

総合周産期母子医療センター 母体・胎児部門 宮下 真奈美